



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
 コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	35,507	△16.4	470	△85.5	548	△85.7	425	△84.9
2019年3月期第1四半期	42,480	33.4	3,239	—	3,833	450.3	2,816	795.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △1,104百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 580百万円(△0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	17.42	—
2019年3月期第1四半期	113.40	—

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	257,736	158,102	61.0
2019年3月期	269,521	160,946	59.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 157,286百万円 2019年3月期 160,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	60.00	—
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、2019年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	74,000	△19.3	650	△92.0	850	△90.4	450	△93.2	18.41
通期	167,000	△18.4	6,950	△66.4	7,350	△66.5	5,450	△67.9	222.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	24,893,841株	2019年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	449,905株	2019年3月期	449,837株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	24,443,977株	2019年3月期1Q	24,836,959株

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績は、連結売上高355億7百万円(前年同期比16.4%減)、営業利益4億70百万円(前年同期比85.5%減)、経常利益5億48百万円(前年同期比85.7%減)、純利益4億25百万円(前年同期比84.9%減)となりました。

連結受注は444億80百万円(前年同期比24.1%減)となりました。過去最高であった前年同四半期に比べ、全ての地域で受注が減少しました。

売上高と受注の差が大きいの、第3四半期以降に売上となる受注残の割合が多いためです。

引き合いの状況はさらに厳しくなり、受注の回復が当初の計画よりも遅れることを想定し、業績予想を修正いたしました。7月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

第1四半期における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。

(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については8ページを参照ください)

セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

牧野フライス製作所の国内受注は、前年同期を下回りました。ロボット・半導体製造装置の部品加工向けが大きく減少しました。航空機向け受注は増加しましたが、減少を補うまでには至りませんでした。

第2四半期においても第1四半期と同等の受注が継続し、前年同期を下回ると見えています。一般機械の部品加工向けにまとまった引き合いを見込んでいます。航空機向けでは受注のタイミングが不確定なものがあり、動向を注視しています。

セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

中国は、前年同期に好調であったスマートフォン向けの減少により、前年同期を下回りました。自動車向け受注に加え、幅広い産業の金型向け受注については継続しました。

第2四半期の中国は引き続き前年同期を下回る見通しです。自動車向けの引き合いは厳しい状態が続いています。スマートフォン向けで継続中の引き合いは、受注決定のタイミングが延びています。

インドは、自動車の部品加工向けに一部スポット受注がありました。そのほかは、自動車販売台数の減少等により低調であったことで、前年同期を下回りました。

第2四半期のインドは引き続き前年同期を下回る見込みです。自動車向けのほか、航空機向けからの受注獲得で減少を補うよう取り組みます。

アセアン地域では、ベトナム以外で受注が減少し、前年度を下回りました。第2四半期は、引き続き自動車をはじめ幅広い産業向けで、第1四半期と同等の受注を見込んでいます。

セグメントⅢ(MAKINO INC.)

幅広い産業の部品加工向けに受注があった前年同期を下回りました。医療やSUV、トラックなど一部の部品加工向けは堅調に推移しました。航空機向けは、一部機材の出荷停止がある中で、前年同期並みを維持しました。

第2四半期も第1四半期と同等の受注が継続し、前年同期を下回ると見えています。

セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

欧州は前年同期を下回りました。景況感の悪化を受けて、一般機械や自動車の部品加工向けを中心に減少しました。航空機向けは堅調に推移し、前年同期並みとなりました。

第2四半期は、受注の少なかった前年同期に対し上回る見込みです。航空機や自動車の部品加工向けを中心に受注獲得に努めます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ117億85百万円減少し、2,577億36百万円となりました。主な増減としては、受取手形及び売掛金155億42百万円の減少、棚卸資産31億96百万円の増加などが挙げられます。

負債につきましては、仕入債務73億14百万円の減少、未払法人税等30億74百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ89億40百万円減少し、996億33百万円となりました。

また、純資産につきましては、為替換算調整勘定19億10百万円の減少、利益剰余金12億99百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ28億44百万円減少し、1,581億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2019年4月26日に公表した業績予想を修正しました。具体的内容は本日(2019年7月31日)公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,215	48,872
受取手形及び売掛金	53,402	37,859
有価証券	39	40
商品及び製品	17,916	21,010
仕掛品	13,192	15,964
原材料及び貯蔵品	32,317	29,647
その他	6,356	5,021
貸倒引当金	△775	△772
流動資産合計	171,665	157,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,246	31,783
機械装置及び運搬具（純額）	9,086	8,739
工具、器具及び備品（純額）	4,772	4,607
土地	17,427	17,132
リース資産（純額）	922	3,707
建設仮勘定	1,427	1,795
有形固定資産合計	65,882	67,764
無形固定資産		
その他	3,838	3,586
無形固定資産合計	3,838	3,586
投資その他の資産		
投資有価証券	20,828	21,262
長期貸付金	559	647
繰延税金資産	3,773	3,841
退職給付に係る資産	195	192
その他	3,132	3,141
貸倒引当金	△353	△346
投資その他の資産合計	28,135	28,740
固定資産合計	97,855	100,091
資産合計	269,521	257,736

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,784	11,773
電子記録債務	16,490	14,186
短期借入金	3,364	3,217
1年内返済予定の長期借入金	7,725	7,684
リース債務	216	541
未払法人税等	3,701	627
その他	26,027	25,268
流動負債合計	74,309	63,298
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	13,872	13,862
リース債務	856	2,851
繰延税金負債	4,155	4,267
役員退職慰労引当金	99	102
退職給付に係る負債	4,047	4,038
その他	1,234	1,214
固定負債合計	34,265	36,335
負債合計	108,574	99,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,070	37,070
利益剰余金	95,782	94,483
自己株式	△2,009	△2,010
株主資本合計	151,986	150,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,823	11,100
為替換算調整勘定	79	△1,830
退職給付に係る調整累計額	△2,774	△2,670
その他の包括利益累計額合計	8,128	6,599
非支配株主持分	831	816
純資産合計	160,946	158,102
負債純資産合計	269,521	257,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	42,480	35,507
売上原価	28,996	25,381
売上総利益	13,484	10,125
販売費及び一般管理費	10,245	9,655
営業利益	3,239	470
営業外収益		
受取利息及び配当金	371	442
受取賃貸料	60	55
為替差益	188	-
その他	112	183
営業外収益合計	733	681
営業外費用		
支払利息	70	89
為替差損	-	465
その他	68	47
営業外費用合計	138	602
経常利益	3,833	548
特別利益		
固定資産売却益	60	17
投資有価証券売却益	52	-
特別利益合計	112	17
特別損失		
固定資産除却損	5	0
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	3,941	566
法人税等	1,120	142
四半期純利益	2,820	424
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,816	425

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,820	424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,816	276
為替換算調整勘定	594	△1,910
退職給付に係る調整額	△17	104
その他の包括利益合計	△2,239	△1,529
四半期包括利益	580	△1,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	577	△1,103
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)

一部の在外連結子会社において「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。ASC第606号の適用については、ASC第606号の経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しております。この変更による当第1四半期連結会計累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

「リース」(IFRS第16号)

一部の在外連結子会社においては、当第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、当第1四半期連結会計期間の期首時点で、有形固定資産が2,309百万円、流動負債が312百万円、固定負債が2,017百万円、それぞれ増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC.(アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	12,464	14,305	11,981	3,729	42,480
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,682	2,463	108	8	19,262
計	29,146	16,769	12,090	3,737	61,743
セグメント利益 又は損失(△)	2,725	1,537	△127	△422	3,712

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	3,712
未実現利益の消去他	△473
四半期連結損益計算書の営業利益	3,239

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	10,417	11,375	10,975	2,739	35,507
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,749	1,919	87	18	14,774
計	23,166	13,295	11,062	2,757	50,282
セグメント利益 又は損失(△)	333	878	15	△393	834

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	834
未実現利益の消去他	△364
四半期連結損益計算書の営業利益	470

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	12,108	27.2	△21.6
II	15,120	34.0	△24.1
III	13,185	29.7	△23.3
IV	4,065	9.1	△32.2
合計	44,480	100.0	△24.1

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間末 2019年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	26,736	37.2	△9.9
II	15,935	22.2	△3.5
III	16,342	22.8	△24.7
IV	12,806	17.8	△7.0
合計	71,821	100.0	△12.1

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	10,417	29.3	△16.4
II	11,375	32.1	△20.5
III	10,975	30.9	△8.4
IV	2,739	7.7	△26.6
合計	35,507	100.0	△16.4

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。